



2022年4月28日

各位

会社名 大太平洋金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 青山 正幸
 (コード番号 5541 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役常務執行役員 松山 輝信
 (TEL 03-3201-6681)

営業外収益(持分法による投資利益、為替差益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)において、営業外収益として持分法による投資利益及び為替差益を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、2022年1月31日に発表した通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●営業外収益(持分法による投資利益)の内容

主にフィリピンの持分法適用関連会社において、堅調な需要等に支えられ、当連結会計年度におきまして、持分法による投資利益6,483百万円を計上する見込みとなりました。

●営業外収益(為替差益)の内容

外貨建債権債務の評価において、外国為替相場が円安になったこと等により、主に外貨建債権に評価益が発生したため、為替差益1,311百万円を計上する見込みとなりました。

●業績予想の修正について

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年1月31日発表)	百万円 54,713	百万円 2,722	百万円 9,913	百万円 8,455	円 銭 433.52
今回修正予想(B)	57,129	4,806	12,999	11,368	582.93
増減額(B-A)	2,416	2,084	3,086	2,913	
増減率(%)	4.4	76.6	31.1	34.5	
(参考)前期実績(2021年3月期)	32,217	△493	3,344	1,162	59.61

2. 修正の理由

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)は国内外の景気へ引き続き影響を及ぼしており、経済の先行きは、依然不確実性が高い状態で推移しております。

販売数量面では、ニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、国内外の稼働にばらつきは見られるものの堅調で、概ね前回発表予想通りを見込んでおります。販売価格面では、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、各国の経済回復に伴う堅調なニッケル需要に加え、ウクライナ情勢の緊迫化の影響もあり、前回公表値以上で推移するものと見込んでおります。調達面においては、ニッケル鉱石は生産に見合う数量は確保する見通しの一方で、ニッケル鉱石価格及び燃料、諸原料価格等が高水準で推移しており、生産コストへの影響が見込まれます。また、上記の営業外収益(持分法による投資利益)の内容及び営業外収益(為替差益)の内容のとおり、それぞれ計上を見込んでおります。

感染症の影響につきましては、翌当連結会計年度においても継続するものと考えられますが、そうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き、強く推し進めて参ります。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提

に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 前提条件の修正

	販売数量 (t)			生産数量 (t)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2022 年 1 月 31 日)	12,957	14,043	27,000	11,874	14,652	26,526	8.12	8.83	8.49	109.16	111.61	110.43
今回修正予想	12,957	14,103	27,060	11,874	14,375	26,249	8.12	9.33	8.75	109.16	113.97	111.67
(参考) 前期実績 (2021 年 3 月期)	9,674	11,119	20,793	9,374	9,040	18,414	5.94	7.07	6.54	106.06	104.47	105.21

以上